



大塩民生市長 施政方針を表明

第1回市議会(定例会)で、大塩市長が30年度の施政方針を表明しました。ここでは、そのあらましを紹介いたします。全文は市役所2階の市政情報コーナーと各公民館などで閲覧できる他、市ホームページでも公開。なお、同市議会では30年度の一般会計をはじめ、特別会計や公営企業会計の予算案などが審議されています。

30年度予算案

財政課 ☎(740) 1130

30年度予算案が市議会(定例会)で審議されています。ここでは、その概要を紹介。「30年度当初予算の概要」は、市役所2階の市政情報コーナーの他、市ホームページで公開しています。

一般会計と特別会計の主な事業展開

30年度の一般会計の予算規模は、569億4100万円です。

経常的な事業に加えて、市の第5次総合計画後期基本計画と地方創生総合戦略を進めるために、子育て支援や教育環境の整備、健康づくり施策の充実、複合施設「キセラ川西プラザ」の整備などに係る予算を計上しています。

特別会計では、東谷地域包括支援センターの出入機関の開設や、キセラ川西地区内の道路整備の完了をめざした予

算を計上しています(30年度予算の主要事業は4〜7ページに掲載)。

一般財源は横ばい 投資的事業は増加

歳入では、市税収入や使途が制限されない一般財源総額について、前年度とほぼ同程度になると見込んでいます。

また、投資的経費の増加により、その財源となる国庫支出金や市債、民生費の財源である国庫支出金の額も増加しています。

歳出では、民生費が特別会計への繰出金を含めた医療・介護などに係る経費(約59億円)や障がい者支援(約35億円)、生活保護に係る経費(約38億円)、児童手当の支給(約24億円)、保育所運営などに係る経費(約44億円)などで、前年度と比べて約14億円増加。歳出予算の38.6%と大きな割合を占めています。

□会計別予算案

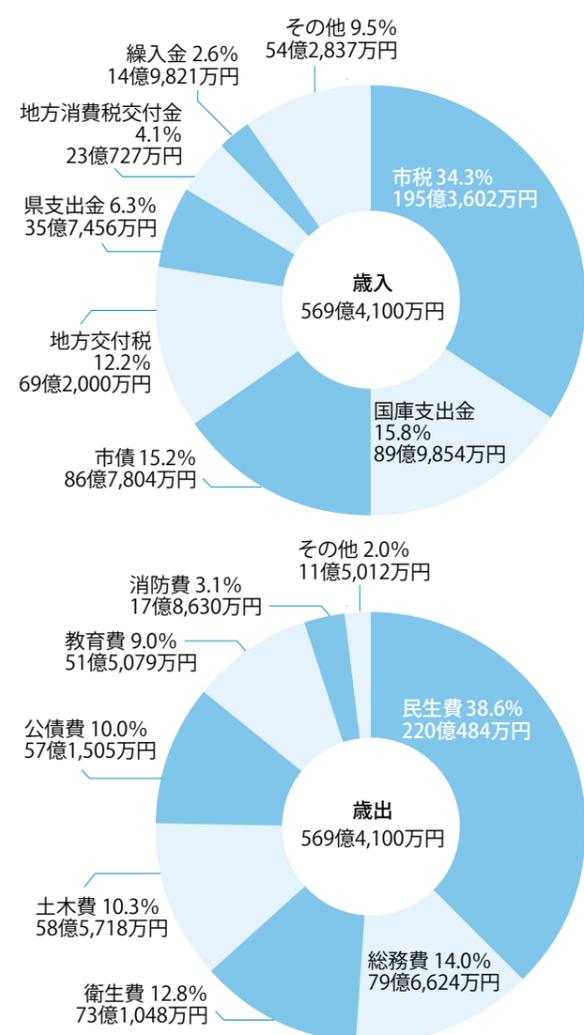
会計名	30年度当初予算	29年度当初予算
一般会計	569億4,100万円	545億6,900万円
※借換債を除く場合	558億7,190万円	535億 20万円
特別会計		
国民健康保険事業	163億 704万円	203億5,643万円
後期高齢者医療事業	31億 349万円	29億2,314万円
農業共済事業	1,298万円	1,201万円
介護保険事業	123億9,476万円	116億8,728万円
用地先行取得事業	28億1,572万円	26億4,811万円
中央北地区土地区画整理事業	17億8,381万円	32億5,476万円
小計	364億1,779万円	408億8,172万円
一般・特別会計の合計	933億5,879万円	954億5,073万円
※一般会計の借換債を除く場合	922億8,969万円	943億8,193万円
企業会計		
水道事業	44億8,858万円	43億2,716万円
下水道事業	57億4,925万円	58億7,055万円
病院事業	58億2,784万円	60億 994万円
小計	160億6,567万円	162億 765万円
合計	1,094億2,446万円	1,116億5,837万円
※一般会計の借換債を除く場合	1,083億5,536万円	1,105億8,957万円

□市税の内訳

税目	30年度当初予算	29年度当初予算
市民税	99億5,002万円	98億2,974万円
個人市民税	91億2,604万円	90億 712万円
法人市民税	8億2,398万円	8億2,262万円
固定資産税	71億6,284万円	72億6,800万円
軽自動車税	1億9,347万円	1億9,236万円
市たばこ税	6億1,355万円	6億5,838万円
入湯税	73万円	70万円
都市計画税	16億1,541万円	16億4,742万円
合計	195億3,602万円	195億9,660万円

※表やグラフ中の数値は、端数の関係で合計が一致しない場合があります

□一般会計の歳入と歳出



市の魅力を生かす

今年市に新たな魅力が2つ生まれます。

1つ目は「キセラ川西プラザ」が秋に完成することです。同プラザでは、文化会館や中央公民館などの公共施設を集約。多目的ホール「キセラホール」がオープンすることで、芸術や文化活動を通じて、多くの方に親しまれることを期待しています。

また、同プラザ内に新たに開設する「こども・若者ステーション」は、子育て支援サービスと、若者の課題解決をサポートする相談窓口を設けた、県内初の施設です。

2つ目は、新名神高速道路の川西インターチェンジから神戸ジャンクションまでの区間が3月18日(日)に開通することです。

昨年、川西インターチェンジから高槻ジャンクションまでが開通し、市北部に新たな玄関口が完成しました。川西インターチェンジから少し足を延ばせば、日本一といわれる黒川地区の里山や、映画などのロケ地としても使われる郷土館などがあるため、開通

を機に、新年度ではこれらの観光資源をしっかりとプロモーションしていく必要があると考えています。

一方、市立川西病院の改革では、(仮称)川西市立総合医療センターの整備と指定管理者制度の導入を決定しました。北部地域の医療提供体制についてもしっかりと住民ニーズに対応し、市民が安心して暮らせる医療体制を守っていくために、引き続き取り組みたいと考えています。

後期基本計画がスタート

新年度は、「第5次総合計画後期基本計画」がスタートする、新たな出発の年となります。予算の編成に当たりましては、めざす都市像である「であいふれあい ささえあい 輝きつなぐまち」の実現に向けて取り組むとともに、将来にわたって持続可能なまちづくりを第一義としました。

今後も、市民やコミュニティなどの公益的な活動を推進し、多くのまちづくりの担い手と手を携えながら、参画と協働のまちづくりを重点的に進めていきます。

いきいき健康プロジェクト

市民一人一人が健康で生き生きとしたまちづくりを進めるため、老若男女を問わず健康増進につながる施策を展開するとともに、保健・福祉・医療の連携体制の強化をめざします。



継続・戦略 かわにし健幸マイレージの実施 6,786 万円

他市町と連携して新たな手法を導入し、新規に 1,000 人を追加募集し、実施します。

新規・戦略 がん検診の個別受診勧奨の実施 658 万円

がん検診の受診率向上を図るため、40・45・50・55・60 歳の人へ個別受診勧奨を実施します。

新規・戦略 5 歳児発達相談事業の実施（再掲） 58 万円

説明はこども未来プロジェクトに掲載。

まちの魅力向上プロジェクト

市民が安全・快適・便利に暮らせるまちづくりを進めるため、都市基盤の整備はもとより、自然環境との調和の取れた良好な住環境を維持・創出し、地域の活性化を図ることでもちの魅力の向上をめざします。

継続・戦略 キセラ川西プラザのオープン 27 億 9,835 万円

キセラ川西に、キセラホールや公民館などの文化関連施設と、「こども・若者ステーション」や社会福祉協議会などの福祉等施設を集約した複合施設「キセラ川西プラザ」をオープンします。

継続・戦略 キセラ川西の都市基盤整備 2 億 7,369 万円（特別会計へ計上）

引き続きキセラ川西の道路整備を進め、都市基盤整備の完了をめざします。

継続 豊川橋山手線の整備 6 億 4,730 万円

美園町と絹延町地内の都市計画道路豊川橋山手線の道路・踏切拡幅を進めます。

新規・戦略 子育て世帯などへの（仮称）空き家活用リフォーム助成制度の実施 1,000 万円

貴重な住宅資源を有効に活用するため、市外から転入する子育て世帯などを対象とした、「（仮称）空き家活用リフォーム助成制度」を新設します。

継続・戦略 親元近居助成制度の実施 2,600 万円

子育てや介護などの共助を推進し、転入・定住促進を図るため、住宅取得時の登記費用の一部を助成する、「親元近

継続・戦略 妊婦健康診査費助成事業の拡充（再掲） 1,932 万円

説明はこども未来プロジェクトに掲載。

継続・戦略 特定健康診査と後期高齢者健康診査における尿酸検査の追加 12 万円（一部特別会計へ計上）

高尿酸血症などの早期発見や治療のために、特定健康診査と後期高齢者健康診査の検査項目に尿酸検査を追加します。

継続・戦略 在宅医療・介護連携支援センターでの支援の継続 688 万円（特別会計へ計上）

在宅医療・介護連携支援センターで、医療・介護サービス提供者の連携支援や情報の集約・一元化を継続して行います。

新規・戦略 東谷地域包括支援センターの出先機関の開設 110 万円（特別会計へ計上）

東谷地区のコンビニエンスストアに地域包括支援センターの出先機関を開設し、より身近に相談できる体制を整備します。

継続・戦略 （仮称）火打健幸公園の整備 8,500 万円

火打地内に、健康遊具と防災機能を備えた「（仮称）火打健幸公園」を整備します。

継続・戦略 （仮称）出在家町健幸公園のオープン 3 億 3,100 万円（29年度 予算の繰越）

出在家町地内の松山浄水場跡地に、備蓄倉庫をはじめ、防災機能も兼ね備えた「（仮称）出在家町健幸公園」をオープンします。

居助成制度」を引き続き実施します。

継続・戦略 結婚新生活支援助成制度の実施 1,200 万円

若者世帯の結婚新生活の門出を応援するため、新生活に必要なとなる費用の一部を助成する「結婚新生活支援助成制度」を継続して実施します。

継続・戦略 黒川地区における観光まちづくりの検討 322 万円

黒川小学校校舎をはじめとした、黒川地区に存在する資源の一体的な活用方策など、日本一の里山といわれる同地区における観光まちづくりについて、検討を進めます。

継続・戦略 「あんばい ええまち かわにしプロジェクト」の展開 1,154 万円

都市のイメージアップと定住地としてのまちの魅力を PR するため、「あんばい ええまち かわにしプロジェクト」を引き続き展開します。



30年度 主要事業

第5次総合計画後期基本計画

経営改革課 ⑧（740）1120・財政課 ⑧（740）1130

第5次総合計画後期基本計画では、重点的に取り組む項目を「後期重点プロジェクト」とし、3つに分類。後期基本計画の概要と各プロジェクトの主な事業、施策体系別事業（6・7ページに掲載）、30年度の各事業の予算額を紹介します。「あんばい ええまち かわにし創生総合戦略」に該当する事業には「戦略」と記載。

後期基本計画がスタート

市では、25年度から10年間のまちづくりの指針である「第5次総合計画」を策定。25～29年度の具体的な施策の目標と取り組み内容を総合的・体系的に示した、前期基本計画が目標年次を迎え、30年度からは後期基本計画が始まります。

後期基本計画の期間は、30～34年度の5年間。人口減少や少子高齢化社会の進行、市民ニーズの多様化など、市を取り巻く環境に的確に対応するため、これまでの各施策の成果を踏まえた上で、将来にわたって持続可能なまちづく

りを進めていきます。

3つのプロジェクトを展開

第5次総合計画後期基本計画では、施策体系の「暮らし」「安全安心」「生きがい」「つながり」「行政経営改革大綱」に沿って実施する事業のうち、「こども未来プロジェクト」「いきいき健康プロジェクト」「まちの魅力向上プロジェクト」の3つを、特に重点的に取り組む「後期重点プロジェクト」として位置付けています。

市民力や地域力が発揮できる参画と協働のまちづくりの発展をめざし、関連施策や事業を積極的に展開します。

30年度 後期重点プロジェクト

こども未来プロジェクト

こころ豊かな子どもを育む環境を創出するため、妊娠、出産といったそれぞれの子育てのライフステージにおいて、切れ目のない支援を行うとともに、子どもの生きる力を育むための環境整備をめざします。

新規・戦略 こども・若者ステーションの開設 6,560 万円

キセラ川西プラザ内に、子育て世代包括支援センターや子ども家庭総合支援拠点、子ども・若者総合相談センターなどの機能を持つ「こども・若者ステーション」を開設します。

継続・戦略 妊婦健康診査費助成事業の拡充 1,932 万円

妊婦健康診査費助成額を妊婦 1 人当たり上限 8 万円から 10 万円に増額します。

新規・戦略 5 歳児発達相談事業の実施 58 万円

就学前の子どもの発達について適切な支援が受けられるよう、5 歳児発達相談事業を実施します。

新規・戦略 病児保育事業の実施 202 万円

病後児保育に加え、病気の回復期に至っていない児童を保育する病児保育を実施し、事業の拡充を図ります。

新規・戦略 民間認定こども園（保育所）・小規模保育事業の整備支援 3 億 9,803 万円

待機児童の解消に向けて、民間保育施設の開設や増設に係る経費を補助します。

継続・戦略 市立認定こども園の整備 8 億 3,885 万円

川西南・川西中学校区の市立幼稚園・保育所の老朽・耐震対策と、地域の子ども・子育て支援の充実を図るために、認定こども園の整備を行います。

新規・戦略 1 号認定保育料の一部無償化

市立幼稚園と認定こども園の 1 号認定児童について、低所得世帯を対象に保育料を無償とします。

継続・戦略 留守家庭児童育成クラブの拡充 4,754 万円

民間団体が運営する留守家庭児童育成クラブの支援を拡充するとともに、川西・加茂・牧の台小学校の市立留守家庭児童育成クラブの定数増を図ります。

継続・戦略 ALT（外国語指導助手）などの配置の拡充 1,712 万円

英語力の向上を図るため、小学校の外国語活動の全授業に ALT（外国語指導助手）などを配置するとともに、中学校・特別支援学校では ALT の配置を拡充します。

新規 夏季休業期間の短縮 261 万円

小・中・特別支援学校において、夏季休業期間を短縮し、年間授業日数を 3 日間増やすことで、学力の充実に向けた取り組みを推進します。

継続・戦略 スクールソーシャルワーカーの拡充 341 万円

さまざまな悩みを抱える子どもたちの支援を行うため、スクールソーシャルワーカーの配置を全中学校区に拡充します。

新規・戦略 川西南中学校のエレベーター整備 2,300 万円

安全で快適な教育環境の充実を図るため、川西南中学校にエレベーターを整備します。

継続・戦略 センター方式による中学校給食の PFI 導入可能性調査 500 万円

センター方式による中学校給食の実施に向けて、PFI 導入の可能性について調査します。



生きがい

育つ・学ぶ

継続 耐震性を確保するため、緑台公民館の耐震補強工事を実施 1,734 万円

継続・戦略 安全で快適な教育環境を保つため、小学校 1 校と中学校 2 校の運動場の改良工事を実施 1,810 万円

新規 市立認定こども園を円滑に運営するため、保育業務管理システムを導入 82 万円

新規 就学前の教育・保育と小学校の教育が円滑に接続できるよう、接続期カリキュラムを検討 16 万円

継続・戦略 文化財の保存啓発に向けて、勝福寺古墳の周辺に散策路を整備 6 億 8,721 万円

新規・戦略 市指定文化財の天然記念物を PR するため、案内板を設置 72 万円

つながり

尊ぶ・関わる

継続 耐震性を確保するため、総合センターの耐震補強工事を実施 5,306 万円

継続 市ホームページの見直しを行うとともに、

フェイスブックなどの SNS の活用や、報道機関への情報提供を通じて、市政情報を市内外に発信 451 万円

行政経営改革大綱

挑む

継続 (仮称) 市立総合医療センターの整備に向けて、要求水準書作成支援などのアドバイザー業務を委託 1,296 万円

継続・戦略 現在分庁舎にある清掃事務所を移転するため、旧北部処理センターの一部を解体するとともに改修を実施 4 億 7,851 万円

継続 未利用公有地を売却し、民間での未利用地の有効活用と財源対策を実現 4,101 万円

継続・戦略 地域活動などの担い手を育成するセミナーを充実させるなど、本市の持つ「市民力」や「地域力」が発揮できる環境を整え、市民などの公益的な活動をさらに推進 149 万円

行財政改革の取り組み

行財政改革後期実行計画（計画期間は 30～34 年度）の状況を 30 年度当初予算段階で取りまとめました

問い合わせ 経営改革課 ☎(740)1120

30 年度に取り組む主な項目と効果見込み額を計上しています。

また、行財政改革の実行に伴う必要経費については、その経費を調整した上で計上しています。

□行財政改革の取り組み項目と効果見込み額

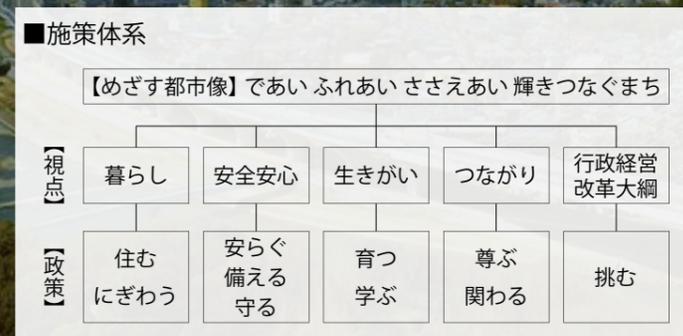
取り組み項目	効果見込み額
■革新し続ける行政経営の推進	324 万円
業務の改善、事務事業の見直し	
協議会などへの加盟や書籍の定期購読の見直しなど	224 万円
環境への配慮	
文書や印刷など見直し	100 万円
■持続可能な財政基盤の確立	6,033 万円
効率的で効果的な行政サービスの提供	
適正な給与体系に向けた段階的な整理	6,000 万円
歳入の確保	
市公式ホームページのバナー広告掲載権の売却	33 万円
■機動的な組織体制の構築と人材の育成	11,188 万円
組織再編と人員配置	
時代に対応した組織体制の見直し	11,188 万円
合計	17,545 万円

※表中、端数の関係で合計が一致しない場合があります

5つの視点から見る

30年度 施策体系別事業

施策体系に沿って、30 年度の施策体系別事業を紹介し（重点プロジェクト掲載事業を除く。「あんばい ええまち かわにし創生総合戦略」に該当する事業には「戦略」と記載）。施策体系は下図の通り。



暮らし

住む・にぎわう

継続・戦略 既存の公園整備の改良・更新に当たり、市民の健康づくりを推進するため健康遊具などを設置 7,882 万円

継続 花屋敷団地等建替事業実施方針に基づき、PFI 事業の実施に向けて準備 3,064 万円

新規・戦略 多数の人が利用する民間施設の耐震化に向けた耐震診断に対して助成 253 万円

継続・戦略 橋りょうの安全確保と長寿命化を図るため、南花屋敷地内の JR 線路上に架かる橋りょうを点検 7,000 万円

継続 久代地内の市道 82 号、中央町地内の市道 3 号と見野地内の市道 12 号の道路拡幅のため、用地測量や物件調査などを実施 3,424 万円

継続 見野地内の都市計画道路見野線の道路拡幅のため、用地測量や物件調査を実施 820 万円

継続 石道地内の市道 284 号外の道路拡幅のため、物件調査や工事などを実施 3,390 万円

継続・戦略 新名神高速道路などの高架下を活用した公園を整備 1,300 万円

継続・戦略 空家等対策計画に基づき、空家などの増加を未然に防ぐとともに、関係諸団体などと連携を図り、対策を実施 39 万円

継続・戦略 中心市街地のにぎわいづくりと新たな魅力を創出するため、「川西まつり」「きんたくんバル」「川西まちなか美術館」などの催しや「藤ノ木さんかく広場」などでのイベントを支援 1,819 万円

継続・戦略 女性の起業を支援するために「川西女性起業塾」を開催 180 万円

新規 市内のため池の安全性を確保するため、点検を実施 158 万円

安全安心

安らぐ・備える・守る

新規・戦略 認知症行方不明高齢者を早期に発見するため、行方不明者の情報を地域の捜索協力員に電子メールで、一斉に送信できるシステムを構築 320 万円（特別会計に計上）

継続 一の鳥居老人福祉センターのトイレ改修や耐震補強工事などを実施 942 万円

新規 誰もが自殺に追い込まれることのない社会の実現をめざすため、「(仮称) 自殺対策計画」を策定 382 万円

新規・戦略 防災行政無線による緊急情報をケーブ

ルテレビ網に接続し、室内でも聞き取りやすい環境を整備するとともに、避難行動要支援者に対しては負担軽減を実施 236 万円

継続・戦略 施設老朽化に対応し、耐震性を確保するため、消防本部と南消防署、訓練棟を整備 2 億 2,440 万円

継続 消火活動に必要な設備を適正に配置するため、キセラ川西に耐震性防火水槽を設置 850 万円

継続 購入から年数が経過した消防団車両を更新 3,650 万円